

株式会社アキテック  
エコアクション21  
2010年度 環境活動レポート



発行年月日:2011年4月30日  
(活動期間 2010.4~2011.3)

## 1. はじめに

2011年度は、3月11日 2時46分の東日本の大地震・津波・原発事故と近世に例を見ない大事故のため、社会に大打撃があり、私共の「物づくり」にも、材料の入荷の遅れ、停電などにより苦勞の立ち上げでした。「苦難は幸福のもと」とも言われますように、乗り切る手段として、節電、節約という関点からエコアクション 21 の活動が必然的にレベルアップすると思っています。

## 2. 組織の概要

### (1)事業所名

株式会社 アキテック

### (2)代表者名

代表取締役 大田 禎之

### (3)所在地

〒262-0013 千葉市花見川区犢橋町1122-1

### (4)環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

大田 貴之

TEL : 043-259-2711

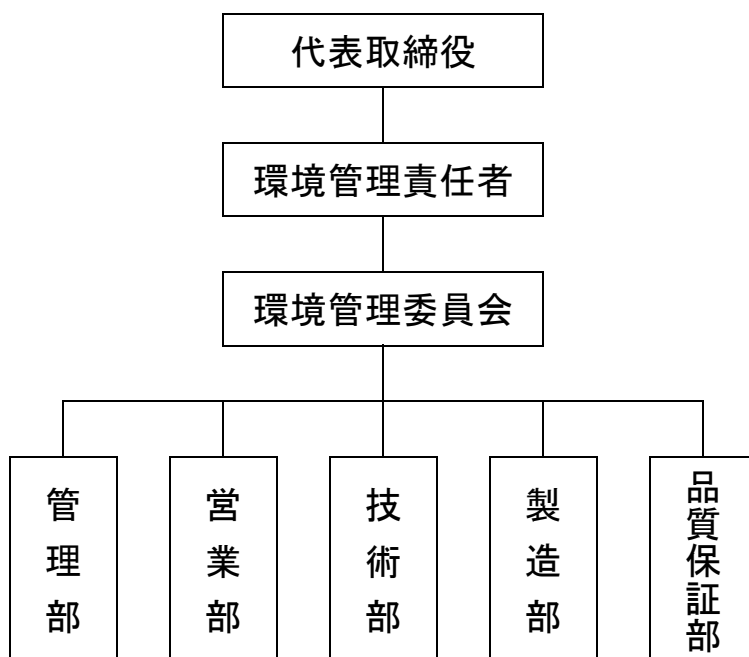
FAX : 043-259-2811

### (5)事業活動の内容

電気機械器具製造・販売

(各種変圧器、リアクトルの設計・製造・販売、及びモータ、ボルテックスブローア、ハーネス、リード線の組立加工)

## (6)環境管理組織図



### <役割、責任及び権限>

**社長：** 環境マネジメントシステムの最高位の責任と権限を有する。

環境管理責任者の任命、環境方針の制定・改定、各種手順書の制定・承認、環境会議の開催、環境活動計画及び各種記録の承認、マネジメントレビューの実施等

**環境管理責任者：** 環境法令等登録表の承認、環境マニュアル作成、活動計画と進捗管理表作成及び進捗把握、教育訓練計画/実施記録の作成、遵法性評価実施、是正・予防処置、緊急事態訓練の計画・実施、マネジメントレビューの情報提供と記録等

**管理・営業・技術・製造・品質保証各部：**環境目標・活動計画の実施、外部環境情報窓口・報告書作成、教育訓練・緊急事態訓練実施、是正・予防処置実施、文書・記録管理等

## 2. 環境方針

# 環 境 方 針

当社は、「いい物づくりをしよう！」をモットーに  
変圧器やモートル等の製造・販売の事業活動を通して  
地球温暖化防止や資源の有効利用等の環境活動を  
全員参加で展開し、環境経営の継続的改善を図ります。

1. 環境目標への取り組み
  - (1)二酸化炭素排出量の削減
  - (2)廃棄物のリサイクル率向上
  - (3)変圧器の標準品の開発（低コスト品=エコ製品）
2. 環境活動への取り組み
  - (1)節電、社用車の燃料節約
  - (2)廃棄物の分別の徹底
  - (3)OA紙等の節約
  - (4)化学物質の使用抑制、保管管理の徹底
  - (5)地下水の節水
  - (6)グリーン購入の実施
3. 当社の関係する環境関連の法律、規制、条例等の遵守

当社の環境方針は掲示等により、全ての従業員に周知します。

2006年10月1日制定

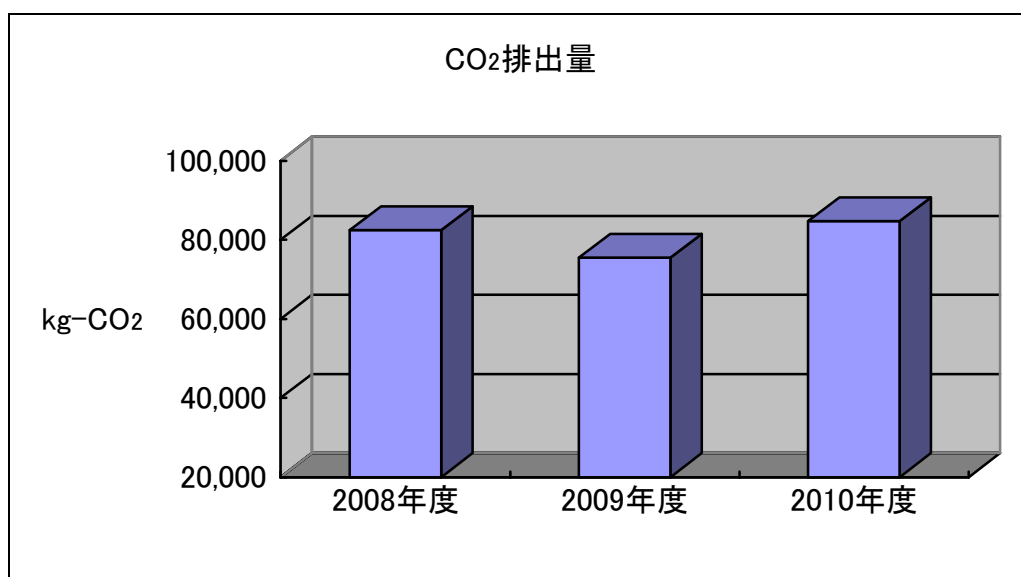
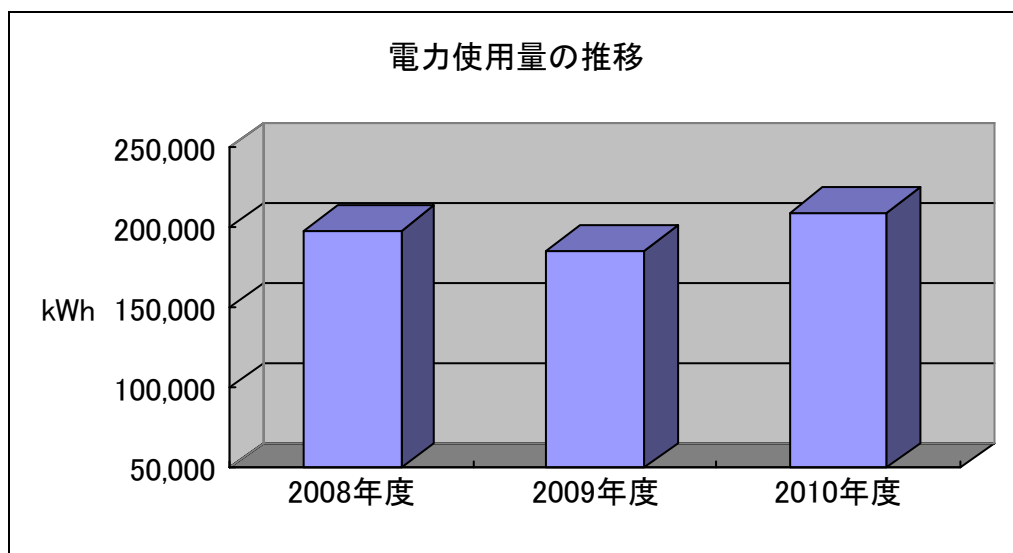
2010年4月6日改定

代表取締役 大田 稷之

#### 4. 環境負荷

負荷項目	2008 年度	2009 年度	2010 年度
購入電力量 (kWh)	198,310	185,661	209,323
二酸化炭素排出量 (kg-CO <sub>2</sub> )	82,487	75,401	84,713
一般廃棄物排出量 (t)	0.507	0.427	0.467
産業廃棄物排出量 (t)	2.574	13.083	8.64
うちリサイクル量 (t)	1.626	12.814	8.078
下水道への排水量 (m <sup>3</sup> )	359	353	437
化学物質排出量 (t)		1.213	0.938

(\*電力の二酸化炭素排出係数は 0.378 を使用)



## 5. 環境目標とその実績

環境目標3年計画	2010年度の計画	2010年度の結果	評価
二酸化炭素排出量を2009年度実績(75,401kg-CO <sub>2</sub> )比で、2012年度までに6%削減する。	2%削減 (73,893kg-CO <sub>2</sub> )	基準年比12%増加 で未達成。 (84,713kg-CO <sub>2</sub> )	×
廃棄物のリサイクル率の向上。 2008年度実績53.9%を基準として、2012年度までに8.1ポイント向上させる。	4.1ポイント向上 (58%)	35ポイント向上 (89%)で達成。	○
変圧器の標準品(低コスト=エコ製品)を2010年度までに開発し、販売する。	試作品の完成	2011年3月 小容量機完成	○
OA紙等の節約	維持管理	2009年度の量を維持	○
化学物質の使用制限、保管管理の徹底	維持管理	適正管理を維持	○
グリーン購入の実施	維持管理	リストを作成	○
地下水の節水	維持管理	実績見直し中(*1)	—

(\*1)揚水ポンプの計測異常が見つかり調査中

## 6. 主要な環境活動内容及び取組結果の評価

環境負荷	環境活動内容	取組結果	評価
電気の使用	①空調の適温化(冷房 28 度、暖房 20 度程度)	徹底している	5
	②多能工推進による残業時間短縮	多能工は一部の品種に止まった。	2
廃棄物の発生	①分別の徹底	徹底している	5
	②リサイクル業者の開拓	開拓中である。	3
社用車のガソリン・軽油の使用・排ガスの発生	① アイドリングストップ、エコドライブによる燃費向上	徹底されるようになった。	4
	② 運送業者の活用	活用をすすめている。	5
	③ 積載効率の向上	分納を減らしている。	4
	④ 配送ルートの見直し	必要性がなかった。	1
紙の使用	①会議資料等の簡素化	徹底している	5
	②両面コピーの徹底	やや徹底を欠いた。	3
	③裏紙使用	徹底している。	5
	④使用済み封筒の再利用	徹底している。	5
	⑤ペーパーレス化	電子メールの活用が進んだ。	4
化学物質の使用	①化学物質の使用量、保管量の管理	管理されるようになった。	4
	②有害物質の保管施設の点検	取扱量が少ないため保管施設を設置しないことにした。	1
グリーン購入	①リストアップ	リストを作成した。	3
地下水使用	①地下水の節水	節水に努めた。	1

【評価方法】5点:90%以上 4点:70%以上 3点:50%以上 2点:30%以上 1点:30%未満

(スケジュールに対する進捗度等の対計画比で評価する)

## 7. 環境活動の評価

(1)二酸化炭素排出量削減は基準年(2009 年度)対比 112%で未達成であった。

原因は、電気使用量が 2009 年度比 13%増となったことであるが、変圧器の生産台数増に加え乾燥工程の長い製品の増加もあり、結果的に未達成となった。

節電対策として、全社を挙げて照明の間引きや消灯の徹底、空調温度設定見直し等展開し、社員のエコ意識高揚に努めた。

- (2)営業車、トラックの燃費は、2009 年度比で若干低下した。
- (3)廃棄物のリサイクル率向上は、フォークリフトの廃棄があり目標達成となった。
- (4)その他の環境活動

OA紙の節約、化学物質の管理、グリーン購入は予定通り実施できた。  
地下水は節水に努めた。

(5)総括評価

二酸化炭素排出量削減は生産増と生產品目の変更から未達成となったが、節電やエコドライブなどの活動が全社員に浸透してきた。

## 8. 代表者による全体の評価と見直し

2011 年 4 月 6 日に、社長による全体の評価と見直しを行い、下記の通りの指示があり、環境目標、環境活動計画は次の通り変更することになった。

(1)環境目標

- (a) 二酸化炭素排出量の削減目標は、2009 年度に策定した中期計画と生產品目が大きく変わったので見直す。2011 年度は 2010 年度実績の 1%削減、2012 年度は 2010 年度実績の 2%削減を新たな目標とする。
- (b) 廃棄物のリサイクル率向上の目標は、2009 年度・2010 年度は設備廃棄があり目標を大きくクリアした。2011 年度、2012 年度は 3 カ年計画の通りとする。
- (c) 変圧器の標準品(低コスト品＝エコ製品)の開発は 3 カ年計画の通りとする。  
2010 年度は小容量機種 of 完成を見たので、2011 年以降は大容量機種 of 完成を期す。

(2)環境活動計画

化学物質管理、グリーン購入、地下水の節水は 3 カ年計画の通り実施する。  
また、製品及びサービスに関する環境配慮については、変圧器標準品 of 開発が当社にマッチしているので、本テーマでの対応とする。

(3)環境方針

環境の変更はない。

(4)環境経営システムは変更の必要性なし。

## 9. 環境関連法規への違反、訴訟等の有無

2010 年 9 月、2011 年 3 月に環境関係法令等の遵守状況を確認した結果、環境関係法令等への違反はない。尚、過去 3 年間に於いて関係当局からの違反等の指摘はなく、また訴訟等もない。

以上